

- ✓ 11月に実施される米国の中間選挙では、与党・民主党が上下両院の過半数を維持できるかがポイント。
- ✓ 足元は銃規制や妊娠中絶問題などへの関心の高まる中で、民主党の支持率が持ち直し、野党・共和党の支持率を逆転。

1. 「中間選挙」とは

- 大統領選挙(4年ごと)の2年後に実施される議会選挙。
- 上院は3分の1(34議席)が改選
- 下院は全議席(435議席)が改選

【イメージ】

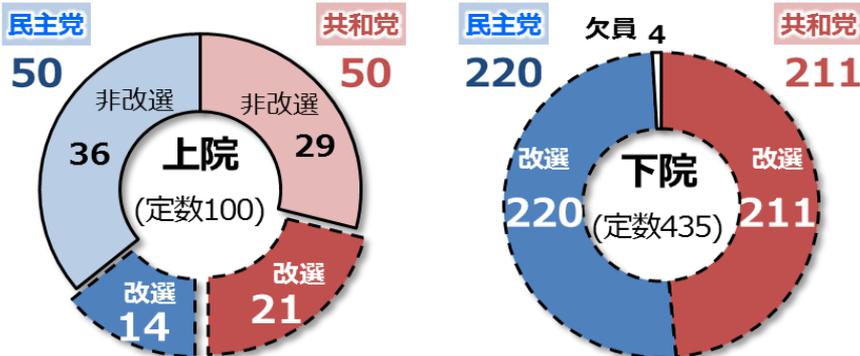
大統領選挙		中間選挙		大統領選挙	
上院	下院	上院	下院	上院	下院
1/3	全議席	1/3	全議席	1/3	全議席
2020年	2022年	2024年		2024年	

2. 今年の中間選挙

- ✓ 2022年は11月8日実施予定
- ✓ 与党・民主党が上下両院で過半数を維持できるかがポイント
- ✓ 野党・共和党の議席数が伸びると、多くの候補者を擁立してきたトランプ前大統領の再出馬のリスクが高まる

【現状の議席と改選議席】

上院は民主・共和が50議席ずつも、「同数投票の場合、副大統領が投票可能」と規定されており、実質的に民主党が上下両院の過半数を占める。



3. 選挙の論点

- ✓ 世論調査によると、有権者の最大の関心は「経済」次いで「インフレ」となっており、生活を圧迫する高インフレに対する不満が高まっている。
- ✓ 経済の回復・インフレ率の低下が見られれば、民主党に追い風となる。

【米国の最重要課題は？】



4. 支持率の推移

- ✓ 妊娠中絶問題への関心の高まりやトランプ元大統領の家宅捜索等を背景に民主党の支持率が回復、共和党の支持率と拮抗状態に。



出所：Bloomberg・NY Times/Siena・各種報道・GALLUP

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

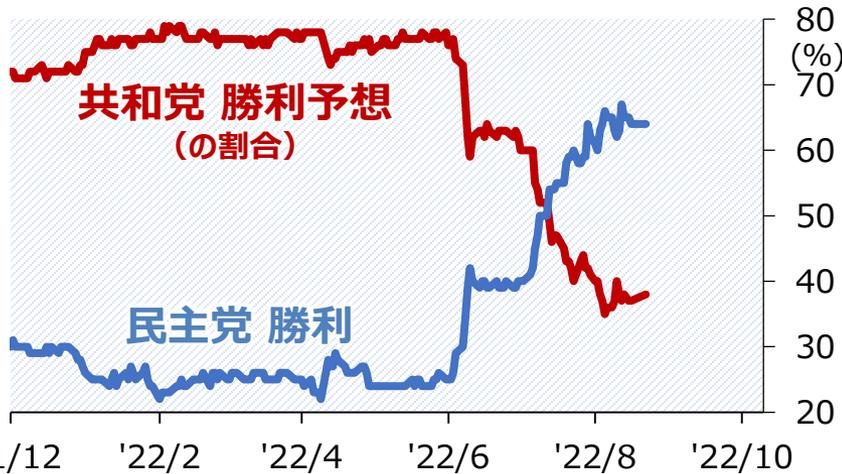
りそなマーケット経済フラッシュ

米国の中間選挙

- ✓ 予測市場においては、民主党は上院の過半数を維持するものの、下院は共和党が過半数を獲得するとの見方が優勢。
- ✓ ねじれ議会となった場合は“政治的不安定化”と捉えられ、市場はリスクオフで反応すると予想される。

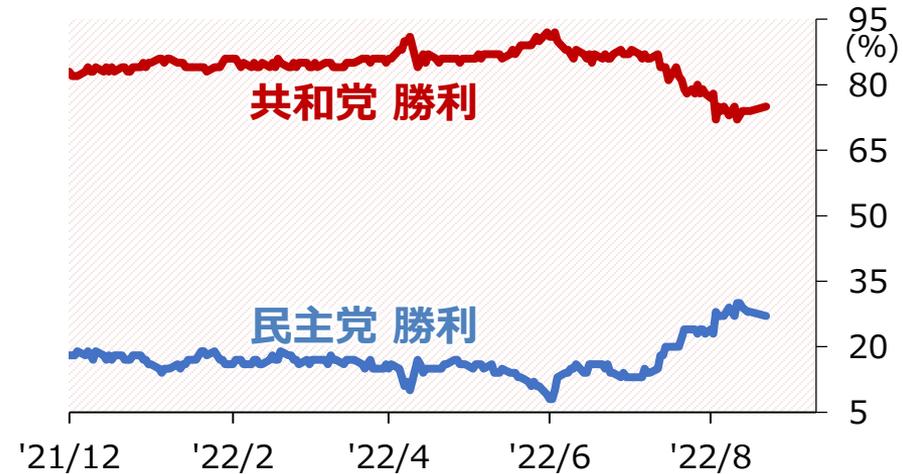
5. 上院選の結果予想（過半数を獲得する党の予想）

改選議席数での優位や妊娠中絶問題・トランプ元大統領の家宅捜索等を追い風に民主党の勝利確率が共和党を上回る。



6. 下院選の結果予想（過半数を獲得する党の予想）

1990年以降、19回の中間選挙の内17回で与党が下院の議席数を減らしており、野党・共和党が過半数を奪還する勢い。



7. 想定される反応

大統領	上院	下院	勝敗	市場の反応
バイデン 大統領 (民主党)	民主党	民主党	トリプルブルー(現状維持)	リスクオン?
	民主党	共和党	ねじれ議会	リスクオフ?
	共和党	民主党		
	共和党	共和党	共和党勝利	急落?

出所：Bloomberg

©注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。